

教科	英語	単元名	主語 + be 動詞 + 形容詞 + that～の表現
----	----	-----	-----------------------------

本時のねらい

- ・心配なことやうれしいことなどの感情を表す表現を理解する。
- ・ペアで協力し、心配なことやうれしいことなどの感情を表す表現を使って、工夫して発表することができる。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・ペアで作成した会話を撮影し、見直すことで、よりよい発表ができる。
- ・すべての skit を映像化することによって、適切な評価をおこなう。
- ・使用場面の視覚化で、日本語を介さずにイメージしたことを英語にする力をつけることができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ ロイロノート
- ・ テレビモニター
- ・ デジタル教科書

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	[Greeting] [Introduction] ・主語 + be 動詞 + 形容詞 + that～などを使った会話 (1. 教員 2. デジタル教科書) を聞き、概要と要点を捉える。 ・生徒からの気づきで、英文のルールを確認する。 ○気持ちを表す言葉がある。 ○気持ちの後ろに that がある。 ○that の後ろに主語と動詞がある。	・デジタル教科書で Scenes の動画を見ることで、言葉だけでなく発話者の声のトーンや表情から伝えようとしていることをつかむ。
展開 (35分)	[Practice] ・絵を見て適切な英文を作る。 ・習った表現を使って、自分のことを表現する。 [Main activity] 1. ペアで skit を考える。 2. 発表に向けてリハーサルを行う。 3. 発表する。 ・ペア同士でタブレットで撮影する。 ・動画をロイロノートで提出する。	・英文の活用場面の視覚化で、日本語を介さずにイメージを英語にする力をつけることができる。 ・一度撮影した映像を見返し、ノンバーバル (非言語) な要素が与える影響の例を挙げながら、よりよい発表につなげる。
まとめ (5分)	[Closing] ・skit を原稿に書く ・ペアで撮影した skit の key sentence を書く [Greeting]	

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



写真 1: 絵を見て自分の気持ちを表現するスライドを確認している場面。



写真 2: ペアで skit を作るために、わからない表現を検索している場面。



写真 3: ペアで作って練習した skit を違うペアが撮影している場面。

児童生徒の反応や変容

- ・いつもと違う状況で生徒たちはすごく緊張しており、コーラスリーディング (一斉音読) で発声する声はとても小さかったが、タブレットを使ってペアで活動したり、わからないことを調べたりする様子から、主体的に学ぼうとする姿勢が見られた。
- ・skit を録画し合うことで、違うペアの skit を見ることができ、生徒たちはより良い発表をしようとしていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・今回の授業では、skit を録画することで、自分たちの発表を客観的に見ることができた。授業者側も提出された動画を比較したり、繰り返し見たりすることができ、評価活動の充実につながった。このように記録として残るところがタブレットを使う利点であると思う。